

# 事業評価シート

番号 1540010 - 001

## 【1.基本情報】

事業名	消防啓発～Fire Note Concert～				
担当部名	消防本部	担当課名	消防総務課		
未来地図政策	市民の生命と財産を守る防災や消防の充実		政策コード	5 - 1 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	令和2 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	消防法	

## 【2.事業概要】

事業の目的	住民に対して効率的な広報活動を展開するため、消防音楽隊を集客の足掛かりとして、演奏の前段・合間などに住民の安心・安全を守るために必要な火災予防、救急車の適正利用、住宅用火災警報器の設置促進、外出先での避難方法を、視覚・聴覚を駆使して学んでいただくとともに、不特定多数の方が集まる場所での避難訓練に参加してもらうことで、自身を守る知識、自助・共助の意識向上を図り、生命保護及び被害の軽減の礎とする。				
事業の内容	広域4市1町のイベントホールや不特定多数の方が集客することのできる防火対象物を選定し、消防音楽隊の演奏をコアとして住民を集客する。聴講者に対し、演奏の前段・合間に消防が実践していただきたい各種事柄等を伝えとともに、避難訓練を実施し、安心・安全を共有する。				
事業の対象	何を	防火、防災、救急についての知識、技術			
	誰に (対象者・対象者数)	広域4市1町の住民			
	どのくらい (具体的数値で)	500人以上			
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症対策に伴い未実施				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		0	
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
<b>計(A)</b>	0	0	0	0	0	0

### (2)物にかかるコスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
<b>直接経費【直接事業費】(B)</b>			
<b>直接事業費の主な内訳</b>			
項目			
<b>減価償却費【施設管理】※(C)</b>			
<b>計(D)=B+C</b>	0	0	0

### (3)総コスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
<b>総事業費(E)=A+D</b>	0	0	0

## 【4.収入】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
<b>収入内訳</b>			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	0	0	0

## 【5.収支】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
<b>市負担額一般財源(E-F)</b>	0	0	0

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者			広域4市1町の住民
受益者数			500
受益者負担額(千円)			0
受益者負担率(%)			
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	音楽隊コンサートの開催件数	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			1
実績値			0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	コンサート参加による住民の意識向上	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			500
実績値			0
達成状況			—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	防火意識の向上、応急手当等の知識・技術の向上、救急車の適正利用等、市民・社会のニーズに合っている。  消防責任を有する市が担う必要ある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	消防広報の効果を高めることを目的として設けられた音楽隊により、演奏会を通じて、多くの市民に広報できるとともに、音楽隊の存在感や意外性をアピールでき効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	自身を守る知識、自助・共助の意識向上を図り、生命保護及び被害の軽減が見込める。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	広域4市1町の全住民を対象としており、公平性が担保されている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	広域4市1町において、年1回以上継続開催し、広く住民に啓発し、より一層の「消防広報、安全・安心」を推進していく。